

山形ゆみ子議員の 市議会報告

3月定例議会(3月3日~26日)

2008年 4月
日本共産党

<連絡先>
ひたちなか市高野536-5
<電話>029-285-3774(自宅)
<メールアドレス>
yamagatayumiko@y7.dion.ne.jp



08年度予算決まる

子どもにも お年寄りにも 思いやりのある市政を

今年度の一般会計予算では、個人が払う市民税は八七億千五百八十万円です。昨年と比べると四・八%の増となりました。国の税制改革による定率減税の廃止や、高齢者の非課税措置の廃止などで、三年前に比べると市民は八億九千万円も多く税金を払うこととなります。

長引く不況、不安定な雇用が改善されないなか、市民が必死に働いて、また大切な年金から納めた税金はなにを優先して使うのが、予算を組むうえで大切な視点です。

わたしは、市民の暮らし優先、福祉・教育の充実を求める立場から、提案されている四一議案のうち、一般会計予算、後期高齢者医療事業などを含む十二議案について、反対し討論をおこないました。

後期高齢者医療制度

現代版の「姥捨て山」



七五才以上の高齢者の健康を脅かす大変な制度が四月一日からスタートしました。市の窓口は保険証が届かないという市民などで混乱が続いています。

誰からも

保険料はしっかり

医療はバツサリ

本市では高齢者一万二千四百人が対象です。年金が月一万五千円以上の方は年金天引きとなり、徴収保険料は七億六千六百万円。年金が月一万五千円以下の方の徴収保険料は一億六千二百万円となっています。この保険料は高齢者の人口や医療費の増加によって二年毎に改定されます。さらに保険でかかれる医療も制限されてしまいます。

これまで社会に貢献してきた高齢者の医療を、財源抑制を理由に真っ先に切り捨てるような国に、明るい未来はありません。わたしは市に対し、国や県に「中止・撤回」を求めるよう討論をおこないました。

茨城県医師会が

「反対」声明

この制度は「わずかな年金から新たな保険料を徴収し、さらに年齢で人間の価値を差別することを目的にした制度」だと、県医師会は三月二十八日、反対声明を発表しました。この声明では、「断固反対」を掲げて署名活動に取り組みことや、後期高齢者医療制度の医療手続きにも協力しないことを明らかにしています。

「市民の声」が市政をうごかす

★ 妊婦健診の公費負担が5回に

本市では妊婦健診の公費負担がこれまで2回でしたが、市民からの強い要望や厚労省からの通知もあり、5回実施となりました。前年度非課税世帯などは5回とも全額無料となります。

県内42の市町村が5回実施となるなか、大洗町では10回の公費負担を決めました。本市でもさらなる拡充を求めていきましょう。

★ 第2子・3子の保育料が軽減

昨年6月、厚労省から2子・3子の保育料の軽減策が出され、父母のみなさんは大喜び。本市では遅ればせながら年度末の3月に、取り過ぎた保育料を家庭に戻しました。ある家庭では「30万円も返金され大変助かった」と喜んでいました。

保育料は今年度から幼稚園の子も含め、第1子は全額、第2子は半額、第3子は1/10と全階層で軽減されます。

大きな開発より くらし・福祉に予算を

勝田駅東口は平成二三年度完成をめざして、総額六〇億円の再開発事業がすすめられています。今年度は十二億八千五百万円もの予算が計上されました。協力事業者によるマンション・ホテルの建設や、「駅前」にふさわしくバスの設置などで、にぎわいのある駅前にする」とのことですが、どれほどの市民が望んでいるのでしょうか。また進出企業に対し、固定資産税を三年間免除することも、行き過ぎた予算の使い方です。

一方で財政難という理由で、公民館使用料の受益者負担、補助金のカットなどが進行しています。

切実な市民の要望に耳を傾ける市政のあり方が望まれます。

市政懇談会
5月28日(水)
19:00~

- 3月議会報告
- 後期高齢者医療制度について

<会場>
ひたちなか市文化会館
2階小練習室

08年3月定例議会一般質問

学校給食は自校方式で。なぜ民間委託なの？

市は、学校給食業務の民間委託に向けた調査・検討をすすめています。わたしは「学校給食を民間委託するのではなく、市がしっかりと責任を負うべきだ」と質問しました。

安心・安全が確認され、作り手の顔が見える心温かい学校給食。未来を担う子どもたちの健康や、食事を通じた生きた教育の場が本来の学校給食です。各学校では、地元のプロダクションの協力を得ながら、地産地消などに取り組んできました。市は秋までには決定するとしています。秋までというのはいくまでも目安。市民の理解が得られない場合は再検討も視野に入れていく」と答弁しました。

コスト削減を、民間委託の目的にするのは本末転倒です。市は子どもの健やかな育ちにしっかりと責任を持ち、学校給食の運営をはかるべきです。

遅れている小中学校の耐震化工事を早急に！

本市の小中学校の耐震化工事は大変遅れています。昭和五十六年以前に建てられた校舎が耐震化工事の対象となつていますが、平成十九年度の県の資料では、耐震化率十九・

二%と県内最低となっています。那珂湊二小、前渡小の耐震補強改修工事は計画されていますが、その後の実施計画について質問しました。教育次長は「順次実施する」と答弁するに止まりました。

子どもたちが日中の大半を過ごす場所であり、また災害時の避難場所にもなっている

みんなが気軽に使える公民館に！

使える公民館に！

公民館等施設利用料の減免基準の見直しがおこなわれ、この四月からほとんどの団体が有料になってしまいました。「利用回数を減らした」という声が多く聞かれます。わたしは「利用料減免を元に戻し、誰もが気軽に利用できるように」と質問しました。教育次長は「利用者として利用しない人に不公平感が生じる。受

益者負担は不可欠」と答弁しました。

公民館はもとと多くの地域住民に利用してもらおうためにつくられた施設です。そしてみんなが交流し知恵を出し合ったり、助け合ったり楽しい暮らしを学ぶところ。厳しくした減免を元に戻すよう、引き続き市の対応を求めてまいります。

くらしの相談は
お気軽に



285-3774
山形ゆみ子(自宅)



H22~23に、大規模改修工事予定の前渡小学校

市内小・中学校の耐震化工事の対象棟数(A)

学校名	棟数	A	B
中根小学校	4	3	1
勝倉小学校	4	3	1
三反田小学校	4	3	1
枝川小学校	3	2	1
東石川小学校	4	4	0
市毛小学校	4	3	1
前渡小学校	5	5	0
佐野小学校	4	3	1
堀口小学校	3	3	0
高野小学校	4	2	2
田彦小学校	5	4	1
津田小学校	4	4	0
長堀小学校	3	3	0
外野小学校	3	0	3
那珂湊第一小学校	4	4	0
那珂湊第二小学校	4	4	0
那珂湊第三小学校	3	2	1
平磯小学校	3	3	0
磯崎小学校	2	2	0
阿字ヶ浦小学校	3	3	0
勝田第一中学校	5	3	2
勝田第二中学校	5	4	1
勝田第三中学校	4	4	0
佐野中学校	5	3	2
大島中学校	6	5	1
田彦中学校	2	0	2
那珂湊中学校	4	3	1
平磯中学校	3	3	0
阿字ヶ浦中学校	2	2	0
計	109	87	22

(体育館も含みます)

A: 昭和56年以前建設の棟数
B: 昭和57年以降建設の棟数

霞ヶ浦導水事業は中止を！

市水道料金への影響が心配

霞ヶ浦導水事業は、首都圏の水道用水・工業用水の開発、霞ヶ浦と桜川・千波湖の浄化、濁水被害の軽減を目的として昭和五十九年に工事が始まり、国の総事業費は千九百億円。茨城県の負担額は八百五十一億円で、「無駄使い百選」にも選ばれています。

人口予測が大幅に修正されたいま、県水受水量の協定は見直すべきです。また、取水口の工事着工中止を国・県に申し入れるように求めました。

市長は「濁水対策、新規水需要対応のため、早期完成を国や県に強く働きかけていく」と、どこを向いているのか疑いたくなるような答弁でした。本市では、井戸水も含まれて日量六万トン近い浄水能力があり、さらに節水対策をすすめれば、余りにも高価な県水に頼らなくても済むと考えます。

那珂川は「あゆ」日本一

この四月にも取水口建設をすすめようとする国交省に対し、「先祖から受け継いだ漁業と清流を孫に残したい」と漁業関係者は、那珂川の取水工事の中止を求めています。

あまりに高い県水の購入費

本市は霞ヶ浦導水工事完了時に日量六万五千八百トンの県水の購入を約束しています。これまでも日量一万吨の県水を約五億九千万円で購入しており、その六倍にも及ぶ県水の購入は、市民の水道料金に跳ね返ってくることは確実です。

子ども医療費は無料に！

未来の社会を担う大切な子どもたちの成長や発達に、市が責任をもつという視点から、前回に引き続き子ども医療費の無料化を求めました。福祉部長は「市の独自策は財政事情から大変むずかしい」と答弁しました。

市民の切実な願いに積極的に応えていく、これこそがトップランナーの姿ではないでしょうか。



那珂川の取水口工事予定地(水戸市渡里町)